子ども福祉記者新聞

ザ★ペンギンズ

心でつながる手話体験

あいさつ

おはようございます。

⇦ グーの手にして右の頭の上におろすのがおはよう。グーのポーズから両手で人さしゆびをたててらびきをおけてございます。

こんばんは

⇦ 両手をグーにしてクロスさせる

漢字

野…カタカナのノを書く

夕…前の文字と同じ物を書く

書…かいじゅうのようなてをしておなかをたてにかく

タタミ…指をぴんぱんにひげる

手話ってなに？

手話は耳のきこえない人のためにつくられたものです。あいうえおや漢字、数字、名ごさ、まるあ表し方があります。そのやであそぶつと漢字をしょうかいします。

あ…グーのポーズにしておや指をたてます。

カタカナのノ…カタカナのノを書くやっあのポーズをこ指をたてる

聞いてみましたやってみました

車イスの大変さ

私は2階にある「車イス試乗体験」を体験した、のぞみちゃん、きくこさん親子に質問してみました。

Q車イスを乗ってどう思いましたか？

私はかんごしの仕事をやっていて、車イスをおすはあるけれど、乗る知識はなく思いどうりに動きませんでした。

私も乗ってみました。

その後、私も乗ってみました。乗った車イスはコレです。

走っていると カーブにさしかかりました。どっちのタイヤをまわせばいいのかわかりませんでした。途中でエレベーターにぶつかりそうになったりブレーキが分からなくなったり、ハプニングがいっぱいの車イス体験でした。

細川紘花

(右)ガイドヘルプの仕事をしている渡瀬美佐子さん
(左)利用者さん

三人者、共に行動

障害者にも笑ってほしい

20年間ガイドヘルプの仕事をしている渡瀬美佐子さんにお話をうかがいました。ガイドヘルプとは、利用者の安全・目的を果たす役目です。利用者の方の自宅に行き利用者の方の目的を果たし、利用者の方を自宅へ送る（ドアtoドア）という風に利用者の方を第一に考えるとおっしゃっていました。写真の左側の方は、約30年前にもうまくはくりで目を不自由にしたそうです。原因は不明の行動という事なので私は周囲に気を使って生きたいと思いました。そして、みなさんも周囲に気を使って歩いたりしましょう。

馬渡美央

女性は永遠に美しくなりたい。と言いました。私も松下さんのようなステきな女性になりたいです。

醍醐智江

作業をしながら取材に答える松下さん

しせいどう学園で働く松下みずかさん(22)は、今回の北区障害者作品展に出ました。松下さんは、ネイルアートの仕事をしており、障害者さんたちに笑顔でもらえるように仕事をしています。今回はとくべつに、取材をさせていただきました。

松下さんは、障害のある人たちに、ネイルアートをすると終わった時に「キレイ」「ステキ」など笑顔で帰っていきます。

「それがうれしくて、今も続けています。」と、お話ししていました。

学園に入る前、家で自分の手で練習をしていました。なので、テストの時、初めて多人にネイルをぬった時、じっぱいしたらどうしよう、とび出たらどうしよう。どうしよう、どうしよう」と、きん張してしまったということです。松下さんは、今回のことを通して、「みんな笑顔になってほしい。」とのことです。松下さんは「ネイルなどかみや服もふくめ」

編集後記

今日は色々な場所を取材しました。その中で記事にしたのはネイルアートです。私が取材したネイルアートは、松下さんがしつもんの答えをやくりせつめいしてくれました。私は今日初めて取材をしたのでぎん張して、あいさつもワタワタしていましたが、松下さんが「しっかりしているね」と言ってくれて、取材をしていろんなことやさしくおしてくれたりしたり、やくり答えれしくて、色々なしつもんをしました。この取材で、私は初めてんとコミュニケーションをとれるのが好きなんだ、と実感しました。大人になるまでには人とコミュニケーションがとれるようにがんばりたいです。

五年 醍醐智江

記事全体を見て、障害者の方を昔は差別していた、というような事をきいたことがあるのですが、人は変わってきていると思いました。

六年 馬渡美央

今日のようなを社記者をやっていってもは楽べないことやお本当にしょうがいがあるんに皆様が、すごいね。などのてきしいまをかけて下さ。

ネイルをやってもらっている時に「こわくらいいなどの心配もして下さって嬉しかったです。

五年 細川紘花

いろいろなんのためにいろいろな活動をしていろんなたちを見てたくさんの気持ちや言葉がありたけれど今つしか書けないのでもくしわけないですが自分の心にとどめておきたいと思いました。

他にも点字やアロマの体験などたくさんの思いまこれからもたくさんにしたいと思いました。

五年 野口利 采香
五年 吉野村 稀来

←目の前が真暗でともかったです。